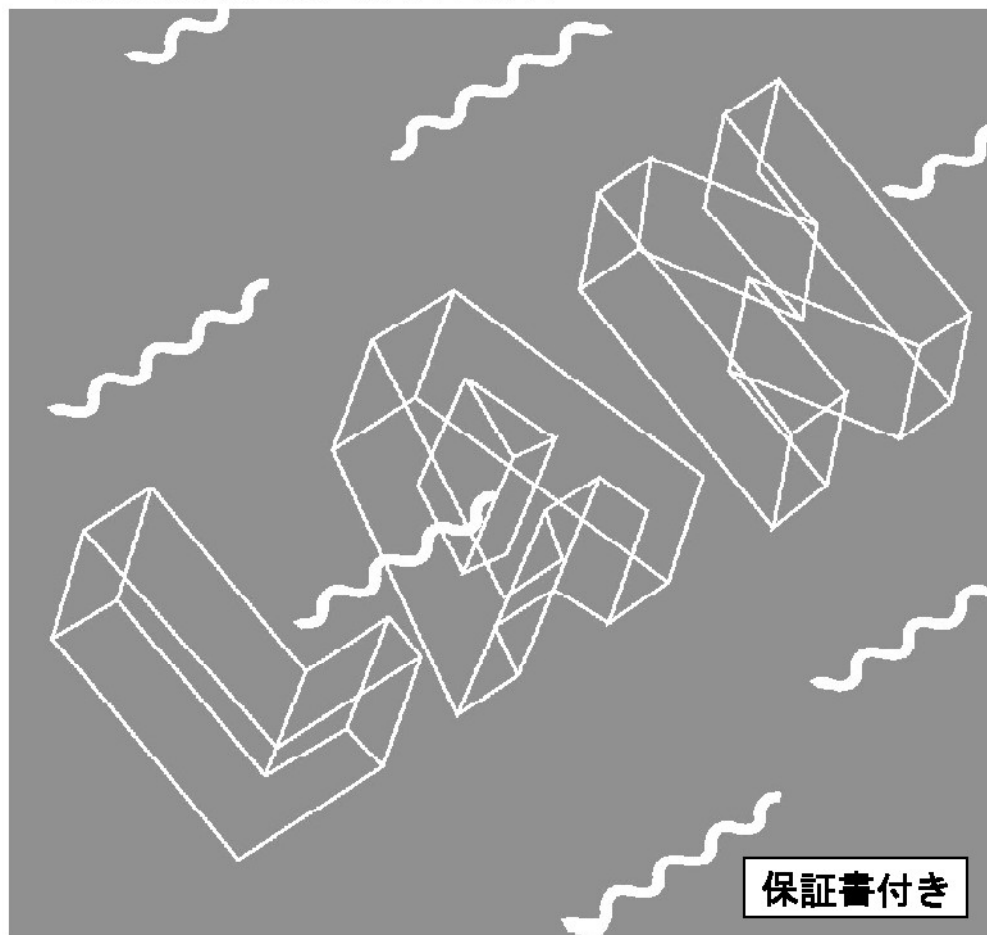


取扱説明書

Switch-S12PWR

品番 PN22129

- お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(2～3ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。



保証書付き

パナソニック電工ネットワークス株式会社
〒105-0021 東京都港区東新橋2丁目12番7号

© Panasonic Electric Works Networks Co., Ltd. 2010

C0410-0

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を説明しています。



注意

「損害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

注意



禁止

●交流100V以外では使用しない

火災・感電・故障の原因となることがあります。

●雷が発生したときは、この装置や接続ケーブルに触れない

感電の原因となることがあります。

●この装置を分解・改造しない

火災・感電・故障の原因となることがあります。

●電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり
たばねたり、はさみ込んだり、重いものをのせたり、加熱したりしない

電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。

●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電・故障の原因となることがあります。

●開口部から内部に金属や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、
落とし込んだりしない

火災・感電・故障の原因となることがあります。

●水のある場所の近く、湿気やほこりの多い場所に設置しない

火災・感電・故障の原因となることがあります。

●直射日光の当たる場所や温度の高い場所に設置しない

内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

●振動・衝撃の多い場所や不安定な場所に設置しない

落下して、けが・故障の原因となることがあります。

●ツイストペアポートに10/100BASE-TX以外の機器を接続しない

火災・感電・故障の原因となることがあります。

注意



禁 止

- **コンソールポートに別売のコンソールケーブルPN72002 DSub9-DSub9ピンコンソールケーブル以外を接続しない**
火災・感電・故障の原因となることがあります。
- **この装置を火に入れない**
爆発・火災の原因となることがあります。

注意



必ず守る

- **必ずアース線を接続する**
感電・誤動作・故障の原因となることがあります。
- **この装置を壁面に取り付ける場合は、本体および接続ケーブルの重みにより落下しないように確実に取り付け・設置する**
けが・故障の原因となることがあります。
- **故障時はコンセントを抜く**
電源を供給したまま長時間放置すると火災の原因となることがあります。
- **ツイストペアポート、コンソールポートで手などを切らないよう注意の上、取り扱う**

使用上のご注意

- 内部の点検・修理は販売店にご依頼ください。
- 商用電源は必ず本装置の近くで、取り扱いやすい場所からお取りください。
- この装置の電源を切るときは電源コードを外してください。
- この装置を清掃する際は、その前に電源コードを外してください。
- 仕様限界をこえると誤動作の原因となりますので、ご注意ください。
- この装置をマグネットで取り付ける場合は、ケーブルの重みなどで装置がずれたり落下したりしないことをご確認ください。
また、ケーブルを接続するときは、装置本体を押さえて接続してください。
- この装置を高所に取り付ける場合は、ねじなどで壁面に確実に固定してください。
- マグネットで高所に取り付けた場合は、落下によるけがや製品破損のおそれがあります。
- マグネットにフロッピーディスクや磁気カードなどを近づけないでください。
記録内容消失のおそれがあります。
- この装置をOAデスクに取り付けた時、取り付けたまま、ずらさないでください。
塗装面によっては傷がつくおそれがあります。
- RJ45コネクタの金属端子やコネクタに接続されたツイストペアケーブルのモジュラプラグの金属端子に触れたり、帯電したものを近づけたりしないでください。
静電気により故障の原因となることがあります。
- コネクタに接続されたツイストペアケーブルのモジュラプラグをカーペットなどの帯電するものの上や近辺に放置しないでください。静電気により故障の原因となることがあります。
- 落下など強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- コンソールポートにコンソールケーブルを接続する際は、事前にこの装置以外の金属製什器などを触って静電気を除去してください。
- 以下場所での保管・使用はしないでください。
(仕様の環境条件下にて保管・使用をしてください)
 - 水などの液体がかかるおそれのある場所、湿気が多い場所
 - ほこりの多い場所、静電気障害のおそれのある場所(カーペットの上など)
 - 直射日光が当たる場所
 - 結露するような場所、仕様の環境条件を満たさない高温・低温の場所
 - 振動・衝撃が強い場所
- 周囲の温度が0～40℃の場所でお使いください。また、この装置の通風口をふさがないでください。通風口をふさぐと内部に熱がこもり誤動作の原因となることがあります。
- この装置を上下に重ねて置かないでください。また、左右に並べておく場合はすき間を15mm以上設けてください。

1. お客様の本取扱説明書に従わない操作に起因する損害および本装置の故障・誤動作などの要因によって通信の機会を逸したために生じた損害については、弊社はその責任を負いかねますのでご了承ください。
2. 本書に記載した内容は、予告なしに変更することがあります。
3. 万一ご不審な点がございましたら、販売店までご連絡ください。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

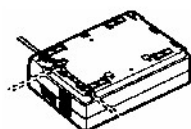
VCCI-A

1 製品概要

Switch-S12PWRは、11ポートのIEEE 802.3af準拠の給電機能有する12ポートの10/100BASE-TXを持つスイッチングハブです。

1.1 特徴

- 使いやすさを考慮し、さまざまな設置形態でも快適に使えるスイッチングハブです。
- マグネットやねじでも設置可能で、小型軽量の筐体です。
- 3ウェイ・マウント(デスクサイド、壁面、ラックへの設置)で、ケーブルの取り扱いが簡単です。
- 電源コードを上、下、左の3方向に引き出すことができます。



- デスクサイドに設置しても、壁面に設置しても、棚においてもLEDの状態が確認できます。
- コンソール接続で管理できます。
- 1～12ポートは、自動ネゴシエーションに対応した10/100BASE-TXポートです。設定による速度および通信モードの切り替えが可能です。
- 1～11ポートはIEEE 802.3af準拠の給電が可能です。ポートあたり最大15.4Wの給電が可能で、機器全体で55Wまで給電が可能です。
- すべてのツイストペアポートがストレート/クロスケーブル自動判別機能を搭載しています。端末、ネットワーク機器の区別を意識せず、ストレートケーブルを用いて相互接続できます。(工場出荷時は1～11ポートはMDI-Xになっております。)
- QoS (IEEE802.1p準拠)をサポートしており、4段階のQueueをもっています。

1.2 仕様

インタフェース : ツイストペアポート 1~12 RJ45コネクタ
IEEE802.3 10BASE-T/IEEE802.3u 100BASE-TX
コンソールポート 9ピンD-subコネクタ
RS-232-C(ITU-TS V. 24)準拠

スイッチ方式 : ストア&フォワード方式
フォワーディングレート
10BASE-T ポート最大14,880pps/ポート
100BASE-TX ポート最大148,800pps/ポート
バッファ 256Kバイト

QoS : IEEE 802.1p対応、4段階のQueueをサポート
管理方式 : コンソールケーブルと通信端末を用い、各種設定を実施
給電機能 : IEEE802.3af準拠の給電機能をサポート
各ポート最大15.4Wまで給電可能。
機器全体で55Wまで給電可能。

電源 : AC100V、50/60Hz、1.7A

消費電力	: 定常時最大79W（非給電時14W）、最小11W
動作環境	: 温度 0～40℃ 湿度 20～80%RH（結露なきこと）
保管環境	: 温度 20～70℃ 湿度 5～90%RH（結露なきこと）
外形寸法	: 220mm (W) × 150mm (D) × 50mm (H)（突起部は除く）
質量{重量}	: 1, 200g
適合規格	: 一般財団法人VCCI協会 クラスA情報技術装置 VCCI Council クラスA

1.3 付属品

必ずお確かめください。

内容物に不足があった場合は販売店にご連絡ください。

●取扱説明書（本マニュアル）	1冊
●マグネット（本体に装着）	4個
●取付金具	1個
●座金付木ねじ	2本
●木ねじ	1本

【別売オプション】

- PN72002 DSub9ピン-DSub9ピンコンソールケーブル

1.4 基本動作

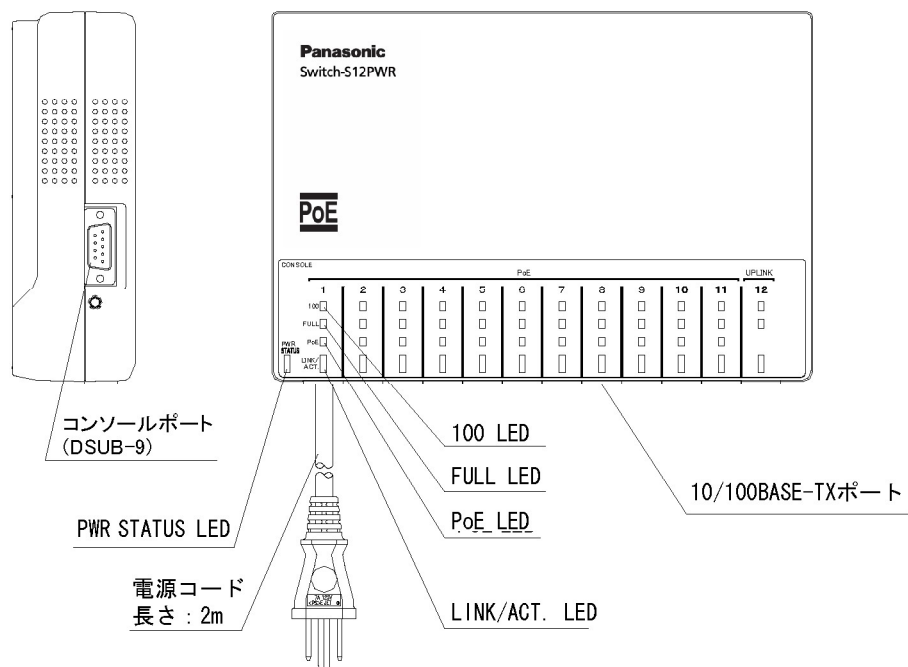
この装置には電源スイッチはありません。電源コードのプラグをコンセントに差し込むだけでご使用いただけます。

この装置は、100V (50/60Hz) のAC電源で動作します。

電源投入後、電源/状態LED (PWR STATUS) が10秒後に橙色に点灯し、80秒以内にハードウェアの自己診断を実行します。完了すると電源/状態LED (PWR STATUS) が橙色から緑色に点灯し、スイッチングハブとして動作します。

この装置は動作中各ツイストペアポートに接続されている端末と通信でき次第、そのポートに関連づけられたリンク/送受信LED (LINK/ACT.) が点灯しますが、端末装置の電源が投入されていないなど、端末が正常に動作していない場合は、リンク/送受信LED (LINK/ACT.) は消灯します。

2 各部の名称と機能



●電源

電源コンセントに接続します。

●10/100BASE-TXポート (1～12ポート)

10/100BASE-TX端末、ハブ、リピータ、ブリッジ、スイッチングハブなどを接続します。
接続ケーブル (CAT5以上) ケーブル長が100m以内に収まるように設置してください。

●コンソールポート

VT100互換端末などと接続し、本機の設定および管理をします。

通信方式	: RS-232-C
エミュレーションモード	: VT100
通信速度	: 9,600bps
ストップビット	: 1ビット
パリティ制御	: なし
フロー制御	: なし

●電源/状態LED(PWR STATUS)

- 橙点灯 : システム起動中
- 緑点灯 : システム正常稼動中(起動完了)
- 消灯 : 電源OFF

●速度LED(100)

1～12ポート 速度LED(100)

- 緑点灯 : 100Mbpsでリンクが確立
- 消灯 : 10Mbpsでリンクが確立

●全二重LED(FULL)

1～12ポート 全二重LED(FULL)

- 緑点灯 : 全二重でリンクが確立
- 消灯 : 半二重でリンクが確立

●PoE給電LED(PoE)

1～11ポート PoE給電LED(PoE)

- 緑点灯 : 電源供給
- 橙点滅 : Overload時
- 消灯 : 給電していない、
または端末(PD)未接続

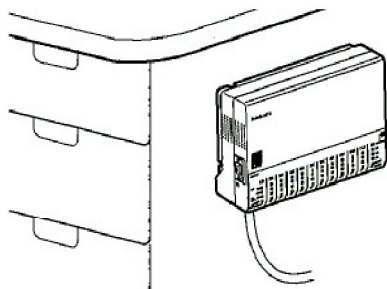
●リンク/送受信LED(LINK/ACT.)

1～12ポート リンク/送受信LED(LINK/ACT.)

- 緑点灯 : リンクが確立
- 緑点滅 : パケット送受信
- 消灯 : 端末未接続

3 設置

3.1 0Aデスクへの設置



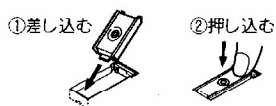
本体に付いているマグネットを使用して、スチール製の0Aデスクの側面などに直接取り付けてください

ご注意：この装置を0Aデスクなどに取り付けたままずらさないでください。
塗装面によっては傷がつくおそれがあります。

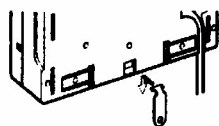
●マグネットの取り外し方



●マグネットの取り付け方

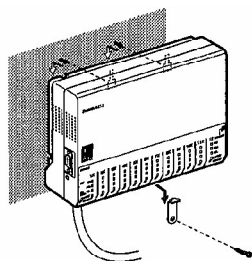


3.2 壁面への設置



正面から見たとき金具の線が見えるまで下に引っ張ってください

本体背面の取り付け穴に付属の金具を引っ掛け、下に引き、金具を本体に固定してください。
(このとき金具の横線と本体の縁が揃うようにします。)



次に付属の座金付木ねじを水平に70mm間隔で固定し、本体を引っ掛けて、金具と壁面を付属の木ねじで固定してください。
ねじ位置は左図のようになります。

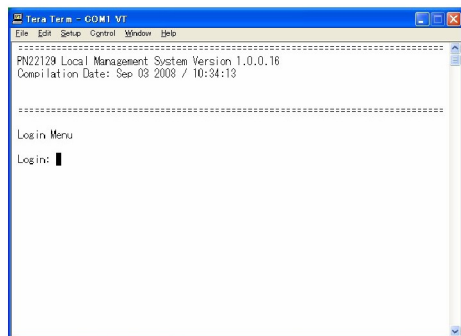
EIA19インチ規格ラックの天板の上に置いてください。

ご注意：上下に重ねて置かないでください。
また左右に並べておく場合は隙間を15mm以上設けてください。

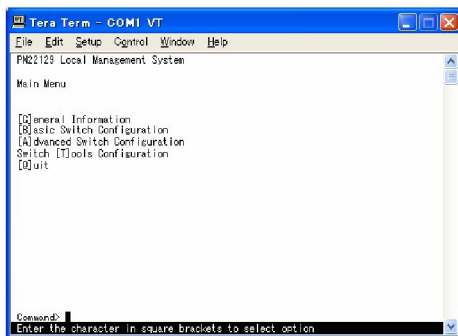
4 設定

4.1 本機への接続

- (1) 別売オプションのDSub9ピン-DSub9ピンコンソールケーブル(PN72002)で、本機とPCを接続し、ターミナルエミュレータ(ハイパーターミナルなど)を起動します。
- (2) 「Enterキー」を3回入力すると、Login画面が表示されますので、Login名とPasswordを入力してください(デフォルトは両方とも「manager」です)。(画面1)
- (3) メインメニューが表示されます。(画面2)



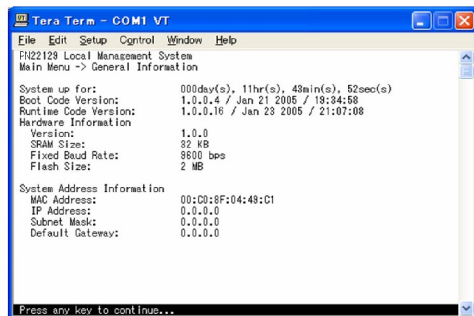
(画面1)



(画面2)

4.2 基本情報の表示

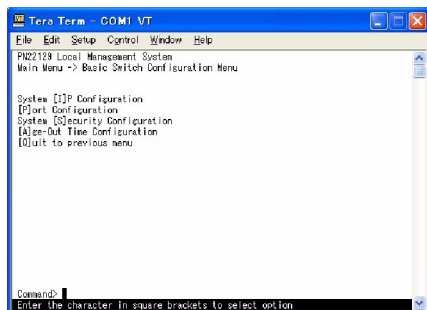
Main Menu(画面2)で、General Information(コマンド「G」)を選択すると、ファームウェアバージョン情報などを表示する画面に移動します。(画面3)
前画面に戻る場合は、何かキーを選択するとMain Menuに戻ります。



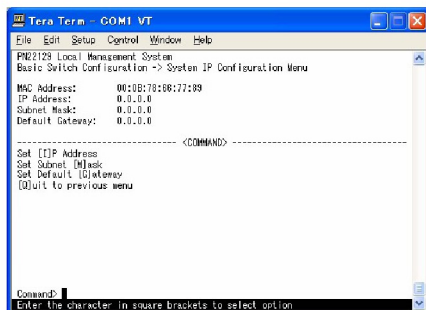
(画面3)

4.3 基本機能の設定

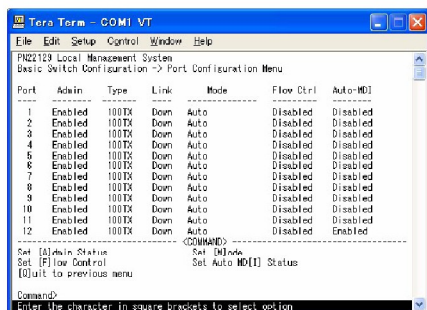
「Main Menu」(画面2)でコマンド「B」を選択すると「Basic Switch Configuration Menu」(画面4)になります。この画面ではIPアドレス(画面5)、ポートの設定(画面6)、エージングタイムの設定(画面7)を行います。



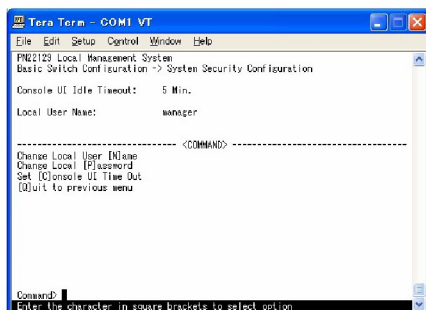
(画面4)



(画面5)



(画面6)



(画面7)

4.3.1 IPアドレスに関する設定

「Basic Switch Configuration Menu」(画面4)でコマンド「P」を選択すると「IP Configuration」(画面5)となります。

IP Addressを設定する時は「I」、Subnet Maskを設定する時には「M」、Default Gatewayを設定する時には「G」をそれぞれ入力し、決められたアドレスを入力してください。(画面5)

ネットワークに接続している端末などから、入力したアドレスにPING試験などをして、正しく設定が反映されているかどうかご確認ください。

4.3.2 各ポートの設定

「Basic Switch Configuration Menu」(画面4)で「P」を選択すると「Port Configuration」(画面6)となります。

4.3.2.1 ポートステータスの有効/無効の設定

- (1) 「Port Configuration Menu」(画面6)で、“Set Admin Status”(コマンド「A」)を選択すると、“Select port number to be changed>”プロンプトが現れますので、対象となるポートを入力します。
- (2) (1)の後“Enable or Disable port 01 (E/D)>”プロンプトが現れますので、ポートを有効にする場合は「E」を、無効にする場合は「D」を入力します。

4.3.2.2 フローコントロールの有効/無効の設定

- (1) 「Port Configuration Menu」(画面6)で、“Set Flow control”(コマンド「F」)を選択すると、“Select port number to be changed>”プロンプトが現れますので、対象となるポートを入力します。
- (2) (1)の後“Enable or Disable port 15 (E/D)>”プロンプトが現れますので、ポートを有効にする場合は「E」を、無効にする場合は「D」を入力します。

4.3.2.3 ポートの通信条件の設定

- (1) 「Port Configuration Menu」(画面6)で、“Set Mode”(コマンド「M」)を選択すると、“Select port number to be changed>”プロンプトが現れますので、対象となるポートを入力します。
- (2) (1)の後“Enter mode for selected port (A/N)>”プロンプトが現れますので、オートネゴシエーションを使用する場合は「A」を、使用しない場合は「N」を選択してください。「N」を選択した場合は、“Enter speed for selected port>”プロンプトが現れますので、10M Halfの場合は「1」を、10M Fullの場合は「2」を、100M Halfの場合は「3」を、100M Fullの場合は「4」をそれぞれ入力します。

4.3.2.4 Auto MDI/MDI-Xの有効/無効の設定

- (1) 「Port Configuration Menu」(画面6)で、“Set Auto MDI Status”(コマンド「I」)を選択すると、“Enter port number>”プロンプトが現れますので、対象となるポートを入力します。
- (2) (1)の後“Enable or Disable auto MDI for selected port (E/D)>”プロンプトが現れますので、Auto MDI/MDI-Xを有効にする場合は「E」を無効にする場合は「D」を入力します。

4.3.3 ユーザー名とパスワードを変更する

「Basic Switch Configuration Menu」(画面4)で(コマンド「S」)を選択すると「System Security Configuration」(画面7)となります。

4.3.3.1 ユーザー名の変更

「System Security Configuration」(画面7)で、“Change Local User Name”(コマンド「N」)を選択すると、“Enter current Password >”プロンプトが現れますので、現在のパスワード(デフォルトは「manager」)を入力してください。これにより

“Enter new user name >”プロンプトが現れますので、新しいユーザー名パスワード(任意の文字列)を入力してください。これによりユーザー名が変更できます。

4.3.3.2 パスワードの変更

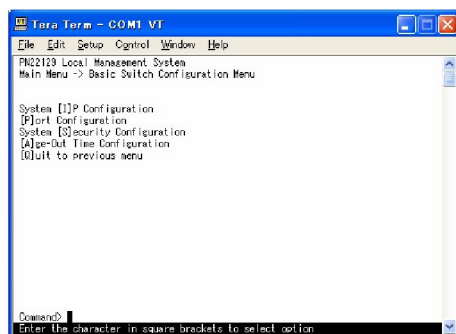
「System Security Configuration」(画面7)で、“Change Local Password”(コマンド「P」)を選択すると、“Enter old password>”プロンプトが現れますので、現在のパスワード(デフォルトは「manager」)を入力してください。これにより“Enter new password >”プロンプトが現れますので、新しいパスワード(任意の文字列)を入力してください。「Enterキー」を押すと“Retype new password >”プロンプトが現れますので、再度新しいパスワードを入力してください。これによりパスワードが変更できます。

4.3.3.3 コンソールタイムアウトの時間変更

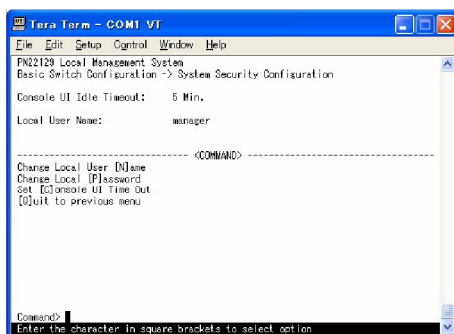
「System Security Configuration」(画面7)で、“Set Console UI Time Out”(コマンド「C」)を選択すると、“Enter console idle timeout>”プロンプトが現れますので、コンソールタイムアウトの時間を入力してください。

4.3.4 エージング時間の変更

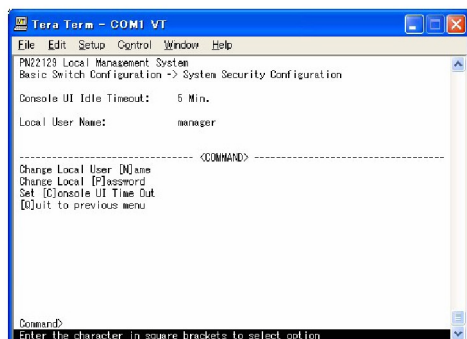
「Basic Switch Configuration Menu」(画面4)で“Age-Out Time Configuration”(コマンド「A」)を選択すると「Age-Out Time Configuration Menu」(画面8)となります。「Age-Out Time Configuration Menu」(画面8)で“Set Age-Out Time”(コマンド「A」)を選択し、0秒から65535秒の間から設定する秒数を入力します。



(画面4)



(画面7)



(画面8)

4.4 拡張機能の設定

Main Menu (画面2) でコマンド「A」を選択すると「Advanced Switch Configuration Menu」(画面9)になります。この画面ではQoSの設定(画面10)、(画面11)Power Of Ethernet(PoE)の設定(画面12)(画面13)(画面14)を行います。

4.4.1 QoSの設定

「Advanced Switch Configuration」(画面9)でコマンド「C」を選択すると「Quality of Service Configuration Menu」(画面10)となります。

「Quality of Service Configuration Menu」(画面10)でコマンド「T」を選択すると「Traffic Class Configuration Menu」(画面11)となります。

4.4.1.1 QoSの有効/無効の設定

「Traffic Class Configuration Menu」(画面11)で“Set QoS Status”(コマンド「S」)を選択すると“Enable or Disable QoS (E/D)>”プロンプトが現れますので、QoSを有効にする場合は「E」を無効にする場合は「D」を入力します。

4.4.1.2 QoS(802.1p)のプライオリティ値の設定

(1) QoS(802.1p)のプライオリティ値に優先順位(Traffic class)を割り当てます。

「Traffic Class Configuration Menu」(画面11)で“Set Priority-Traffic Class Mapping”(コマンド「M」)を選択すると“Enter priority>”プロンプトが現れますので、プライオリティ値(0~7)を入力してください。

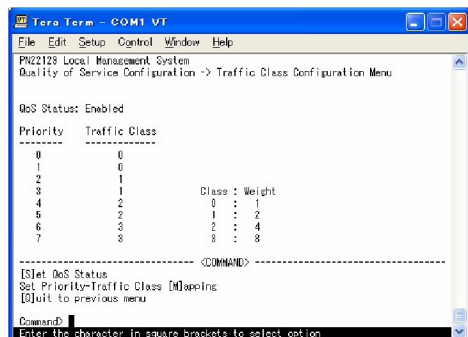
(2) (1)の後“Enter traffic class>”プロンプトが現れますので、Traffic class 値(0~3:4段階)を入力してください。



(画面9)



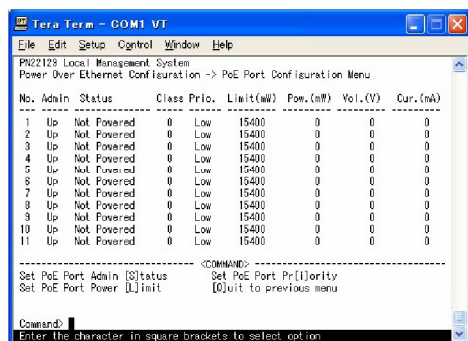
(画面10)



(画面11)



(画面12)



(画面13)



(画面14)

4.4.2 Power of Ethernetの設定(PoE)

「Advanced Switch Configuration」(画面9)でコマンド「P」を選択すると「Power Over Ethernet Configuration Menu」(画面12)となります。
各ポートに対する設定と装置全体に対する設定に分かれます。

4.4.2.1 各ポートの設定

(1) 各ポートの給電の可/否の設定(PoE)

「Power Over Ethernet Configuration Menu」(画面12)でコマンド「P」を選択すると「PoE Port Configuration Menu」(画面13)となります。

①「PoE Port Configuration Menu」(画面13)で“Set PoE Port Admin Status”(コマンド「S」)を選択すると“Enter port number>”プロンプトが現れますので、対象となるポートを入力してください。

②①の後、“Up or Down PoE port admin status (U/D)>”プロンプトが現れますので給電させる(UP)場合は「U」を、給電させない(down)場合は「D」を入力してください。

(2) 供給電力の上限値の設定(PoE)

①「PoE Port Configuration Menu」(画面13)で“Set PoE Port Power Limit”(コマンド「L」)を選択すると“Enter port number>”プロンプトが現れますので、ポート番号を入力してください。

全ポートを一度に変更する場合は、ポート番号を「0」と入力してください。

②①の後、“Enter the power limit>”プロンプトが現れますので、3000～14500mWの範囲で入力してください。入力が完了し、設定が変更されると上部の表示も自動的に変更されます。

(3) プライオリティ値の設定(PoE)

①「PoE Port Configuration Menu」(画面13)で“Set PoE Port Priority”(コマンド「I」)を選択すると“Enter port number>”プロンプトが現れますので、ポート番号を入力してください。全ポートを一度に変更する場合は、ポート番号を「0」と入力してください。

②①の後、“Enter the selection>”プロンプトが現れますので、Criticalに設定する場合は「1」、Highに設定する場合は「2」、Lowに設定する場合は「3」を入力してください。入力が完了し、設定が変更されると表示も自動的に変更されます。

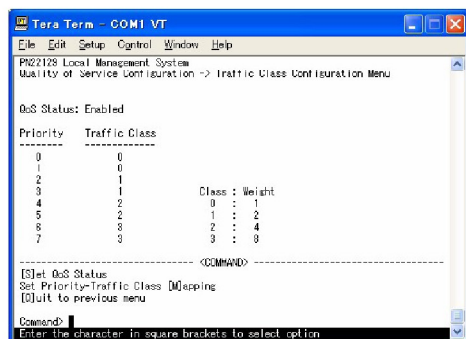
4.4.2.2 装置全体の設定

(1) 電源供給の管理方法の設定(PoE)

「Power Over Ethernet Configuration Menu」(画面12)でコマンド「G」を選択すると「PoE Global Configuration Menu」(画面14)となります。

「PoE Global Configuration Menu」(画面14)で“Set Power Management Method”(コマンド「M」)を選択すると“Enter the power management method (0/1)>”プロンプトが現れますので、PriorityがLowのものをshutdownして新しく接続されたものに供給する場合は「0」を、Priorityの値に関係なく、次につないだものには供給しない場合は「1」を入力してください。

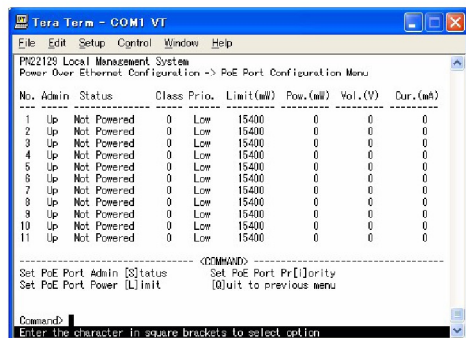
※本装置ではIEEE802.3af準拠の端末機器に対し、合計55Wまでの電源供給が可能です。各ポートごとに15.4Wの供給が可能です。1～11ポートまでの合計の供給電力が55Wを超えないように接続してください。各ポートにおいて供給電力の上限値を超えた場合、StatusでOverloadと表示され、正常に電力供給できなくなります。



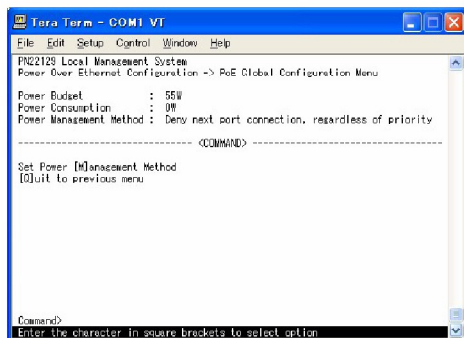
(画面11)



(画面12)



(画面13)



(画面14)

4.5 管理機能の設定

4.5.1 ファームウェアアップグレード方法

「Main Menu」(画面2)でコマンド「T」を選択すると「Switch Tools Configuration」(画面15)となります。「Switch Tools Configuration」(画面15)でコマンド「U」を選択すると「Software Upgrade Menu」(画面16)となります。「Software Upgrade Menu」(画面16)でコマンド「T」を選択すると「TFTP Software Upgrade」(画面17)となります。

(1)「TFTP Software Upgrade」(画面17)で“Set TFTP Server IP Address”(コマンド「S」)を選択すると“Enter IP address of TFTP server>”プロンプトが現れますので、TFTPサーバのIPアドレスを入力してください。

(2)「TFTP Software Upgrade」(画面17)で“Set File Name”(コマンド「F」)を選択すると“Enter file name>”プロンプトが現れますので、ファイル名を入力してください。

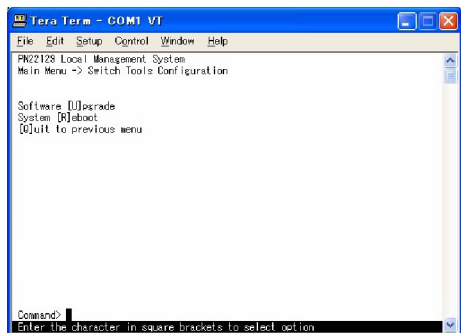
(3)(1),(2)でサーバのIPアドレス、ファイル名を設定後、「TFTP Software Up-grade」(画面17)で“Download Software and Execute”(コマンド「D」)を選択すると“Execute TFTP(Y/N)>”プロンプトが現れますので、ファームウェアアップグレード行なう場合(Yes)は「Y」を、行わない場合(No)は「N」を入力してください。

4.5.2 再起動

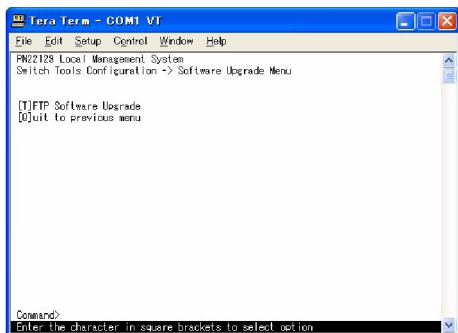
「Main Menu」(画面2)でコマンド「T」を選択すると「Switch Tools Configuration」(画面15)となります。「Switch Tools Configuration」(画面15)でコマンド「R」を選択すると「System Reboot」(画面18)となります。

(1)「System Reboot」(画面18)で“Set Reboot Option”(コマンド「O」)を選択すると“Select reboot option (N/F/I)>”プロンプトが現れますので、通常の再起動をする場合は「N」、全てを工場出荷時の設定状態に戻す場合は「F」、IPアドレスの設定だけを保存し、その他の設定を出荷時の状態に戻す場合は「I」と入力してください。

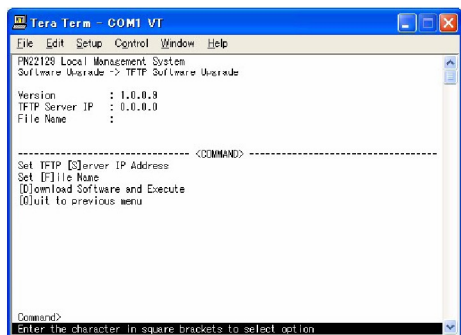
(2)「System Reboot」(画面18)で“Start Reboot Process”(コマンド「R」)を選択すると“Are you sure to reboot the system? (Y/N)>”プロンプトが現れますので、再起動を実行する場合は「Y」、中止する場合は「N」を入力してください。



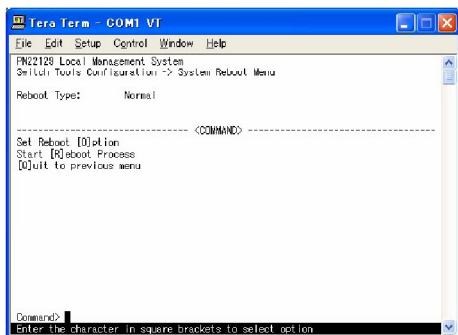
(画面15)



(画面16)



(画面17)



(画面18)



(画面2)

故障かな？と思ったら

故障かなと思った場合には、まず下記の項目に従って確認してください。

◆LED

電源LED (PWR) が点灯しない場合

- 電源コードが外れていませんか？電源コードが電源ポートにゆるみなどがないよう、確実に接続されているか確認してください。

リンク/送受信LED (LINK/ACT.) が点灯しない場合

- ケーブルを該当するポートに正しく接続していますか？
- ケーブル類は適切なものを使用していますか？
- 該当するポートに接続している機器はそれぞれの規格に準拠していますか？
- オートネゴシエーションで失敗している場合があります。
本機のポート設定もしくは端末の設定を半二重に設定してみてください。

◆通信ができない場合

全てのポートが通信できない場合、通信が遅い場合

- 機器の通信速度、通信モードが正しく設定されていますか？
通信モードを示す適切な信号が得られない場合は、半二重モードで動作します。
接続相手を半二重モードに切り替えてください。接続相手機器を強制全二重に設定しないでください。
- この装置を接続しているバックボーンネットワークの使用効率が高過ぎませんか？
バックボーンネットワークからこの装置を分離してみてください。

◆PoE給電ができない場合

PoE給電LED (PoE) が点灯しない場合

- ケーブルは適切なものを使用し、PoE給電をサポートするポート1～11に接続していますか？
- 該当するポートに接続しているPoE対応機器はIEEE802.3af規格に準拠していますか？

保証とアフターサービス（よくお読みください）

1. 保証書について

保証書はこの取扱説明書に付いています。必ず保証書の『お買上げ日、販売店（会社名）』などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買上げの日より1年間です。

2. 修理を依頼されるとき

『故障かな？と思ったら』に従って調べていただき、なお異常がある場合は、お買上げ日と下記の内容をお買上げの販売店へご依頼ください。

- ◆製品名 **Switch-S12PWR** ◆製品番号 **PN22129**
- ◆製品シリアル番号（底面に貼付されている定格ラベル下の11桁の番号）
- ◆ファームウェアバージョン（個装箱に貼付されているラベル上のVer. 以下の番号）
- 異常の状況をできるだけ具体的にお伝えください。
- 保証期間中は、
保証書の規程に従い修理をさせていただきます。
お買上げの販売店まで製品に保証書を添えてご持参ください。
- 保証期間が過ぎているときは、
診断して修理出来る場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。
お買上げの販売店にご相談ください。

3. アフターサービス・商品に関するお問い合わせ

お買上げの販売店もしくは下記の連絡先にお問い合わせください。

パナソニック電工ネットワークス株式会社
TEL 03-6402-5301 FAX 03-6402-5304

4. ご購入後の技術的なお問い合わせ

■ご購入後の技術的なお問い合わせはフリーダイヤルをご利用ください。

フリーダイヤル



0120-312-712

受付 9:30~12:00 / 13:00~17:00

（土・日・祝日、および弊社休日を除く）

お問い合わせの前に、弊社ホームページにて、サポート内容をご確認ください。

URL: <http://group.panasonic-denko.co.jp/pewjnw/>

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 - (イ) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本書をご持参ご提示いただきお申しつけください。
 - (ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、パナソニック電工ネットワークス株式会社にご連絡ください。
2. 保証期間内でも、次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷
 - (ニ) 本書のご提示がない場合
 - (ホ) 本書にお買い上げ日、お客様名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
4. 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

修理メモ

- * お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
 - * この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、パナソニック電工ネットワークス株式会社にお問い合わせください。
- * This warranty is valid only in Japan .

【ご相談窓口における個人情報のお取り扱い】

パナソニック電工株式会社およびパナソニック電工グループ関係会社(以下「当社」)は、お客様の個人情報をパナソニック製品に関するご相談対応や修理サービスなどに利用させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いたしておりますので、ご了承願います。当社は、お客様の個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

持込修理

Switch-S12PWR保証書

本書はお買上げの日から下 **見** 故障が発生した場合には、
 本書裏面記載内容で無料修理 **見** うことをお約束するものです。
 ご記入いただきました個人情報 **見** の利用目的は本書裏面に記載し
 ております。お客様の個人情報 **見** に関するお問い合わせは、お買い
 上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

品 番	PN22129		
保 証 期 間	お買い上げ日から 本体 1 年間		
※ お買い上げ日	年 月 日		
※ お 客 様	ご住所 _____ お名前 _____ 様 電 話 () -		
※ 販 売 店	住所・販売店名 本 電 話 () -		

パナソニック電工ネットワークス株式会社

〒105-0021 東京都港区東新橋2丁目12番7号 TEL (03) 6402-5301

ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡してください。